

鳥取市議会予算審査特別委員会総務企画分科会会議録

会議年月日	令和7年2月25日（火曜日）		
開 会	午前11時27分	閉 会	午後3時20分
場 所	市役所本庁舎7階 第1委員会室		
出席分科員 (8名)	分科会長 吉野 恭介 副分科会長 伊藤 幾子 分科員 坂根 政代 雲坂 衛 米村 京子 浅野 博文 星見 健蔵 上杉 栄一		
欠席分科員	なし		
分科員外議員	なし		
事務局職員	議事係長 谷島 孝子	調査係主事	小林 舞実
出席説明員	<p>【企画推進部】</p> <p>企画推進部長 塩谷 範夫 政策企画課長 上田 貴洋 政策企画課課長補佐 酒本 晶恵 政策企画課地方創生推進室長 西田 茂樹 政策企画課地方創生推進室室長補佐 遠藤 幸二 秘書課長 中川 直人 秘書課課長補佐 太田 瑞穂 秘書課広報室長 植田 孝二 文化交流課長 中村 和範 文化交流課課長補佐 城市 素 国際交流プラザ所長 平井 圭介 次長兼デジタル戦略課長 山根 寿彦 デジタル戦略課参事 松田 仁史 デジタル戦略課課長補佐 上田 芳郎</p> <p>【市民生活部】</p> <p>市民生活部長 河口 正博 地域振興課長 山名 常裕 地域振興課課長補佐 有田 博 協働推進課長 小森 毅彦 協働推進課参事 山根 優子 協働推進課課長補佐 西垣 拓二 市民総合相談課長 前田 武志 市民総合相談課課長補佐 白間 純一 次長兼市民課長 北村 貴子 市民課参事 植田 光一 市民課課長補佐 田中 直美</p> <p>【環境局】</p> <p>環境局長兼生活環境課長 山根康子郎 生活環境課参事 林 公博 生活環境課課長補佐 池原 洋右 環境局次長兼環境保全課長 上田 光徳 環境保全課課長補佐 西澤 直也</p> <p>【総合支所】</p> <p>国府町総合支所長 山川 泰成 国府町総合支所副支所長 藪下 昇 福部町総合支所長 米澤 裕治 福部町総合支所副支所長 福山あゆみ</p>		

	河原町総合支所長 九鬼 栄一	河原町総合支所副支所長 前田 武彦
	用瀬町総合支所長 太田 潤一	用瀬町総合支所副支所長 岡本 秀一
	佐治町総合支所長 下田 俊介	佐治町総合支所副支所長 下石 直生
	気高町総合支所長 中原 登	気高町総合支所副支所長 久野 明男
	鹿野町総合支所長 岡本 幸子	鹿野町総合支所副支所長 小林 克己
	青谷町総合支所長 佐々木敏彦	青谷町総合支所副支所長 田中 陽一
傍 聴 者	1人	
会議に付した事件	別紙のとおり	

予算審査特別委員会総務企画分科会に切替え 午前11時27分 再開

◆吉野恭介分科会長 それでは、予算審査特別委員会総務企画分科会を開催いたします。

議案第11号令和7年度鳥取市一般会計予算のうち所管に属する部分（説明）

◆吉野恭介分科会長 議案第11号になります。令和7年度鳥取市一般会計予算のうち、本委員会の所管に属する部分の説明をお願いします。西田室長。

○西田茂樹政策企画課地方創生推進室長 地方創生推進室の西田でございます。そうしましたら、資料の3、予算審査特別委員会説明資料を御覧いただきたいと思っております。こちら、歳入、歳出の順に御説明をさせていただきます。令和7年度当初予算事業別概要につきましても、適宜説明に活用させていただきます。

それでは、資料3の2ページを御覧ください。説明につきましては、資料の右の欄外に丸印のある主なものについて行わせていただきます。歳入は、歳出の説明の中で、特定財源として説明できるものは省略をさせていただき、歳出につきましては、先般の全員協議会の当初予算概要説明で、ついでに省略をさせていただきます。

それでは、2ページの中段辺りでございます。国庫支出金、国庫補助金、総務費国庫補助金、総務費補助金、新しい地方経済・生活環境創生交付金、第2世代交付金でございます。これは、国の地方創生2.0の起動によりまして、国の交付金の名称も、このような新たな交付金の名称と変わっております。これは、各課の地方創生推進事業に充当する交付金でございます。これも、企画推進部が取りまとめを行いまして、一括で、歳入予算を計上をさせていただいてるものでございます。それぞれの事業に対する補助率は、補助対象経費の2分の1でございます。以上です。

◆吉野恭介分科会長 山根次長。

○山根寿彦次長兼デジタル戦略課長 説明資料4ページへお進みください。4ページの諸収入、雑入の下から2つ目になります。その他雑入、CATV設備使用料等に、6,836万4,000円を計上させていただいております。これは、本市が所有いたしますケーブルテレビ施設の使用料としまして、主に日本海ケーブルネットワークと鳥取テレピアの2社のケーブルテレビ局や通

信事業者から頂いている使用料となっております。

歳入の説明は以上でございます。

◆吉野恭介分科会長 植田室長。

○植田孝二秘書課広報室長 広報室、植田でございます。続きまして歳出です。資料は、6ページを御覧ください。一番下の段になります。予算書は165ページでございます。款総務費、項総務管理費、目文書広報費、細目広報紙発刊配布費の市報発刊配布費でございます。予算額は5,428万7,000円です。財源は、歳入のほうで、県政だよりと県議会だよりの配布費を、委託金580万8,000円と、一般財源4,847万9,000円でございます。この事業は、毎月発行しております、とっとり市報と支所だよりを作成し、配布するための経費でございます。主な内容としましては、市報と支所だより、それぞれの印刷製本経費と、市報等を町内会や市内各所への市報設置場所に配送するための配送費、また、市報作成に携わる会計年度任用職員1名の人件費でございます。

続きまして、7ページを御覧ください。上から4番目の事業でございます。予算書は165ページ、事業別概要は66ページの上段でございます。款は総務費、項総務管理費、目文書広報費の細目は市政広報費となりまして、こちらの鳥取市知名度アップ大作戦事業費でございます。予算額は1,765万1,000円でございます。財源は国・県支出金、これは、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金でございますが、これが1,700万円と、一般財源が65万1,000円でございます。これは、現在の取組でいいますと、＃鳥取家族、このキャッチコピーで展開しておりますシティプロモーション事業となります。この事業により、本市の知名度や認知度を向上させ、観光客や移住者、そして関係人口の増加を図るとともに、鳥取市民自身も、自信と誇り、シビックプライドを持っていただけるような、住む人にも来る人にも愛され続ける鳥取市の実現を推進したいと考えております。令和7年度事業におきましては、事業別概要66ページ下段の地産地消！地域応援クーポン事業とも連動させ、それぞれの事業で、相乗効果が図れる仕掛けを考えて実施したいと考えております。以上です。

◆吉野恭介分科会長 上田課長。

○上田貴洋政策企画課長 政策企画課、上田です。その一番下のほうになります。下から2番目です。企画費、総合企画費、若者定住促進事業費です。事業別概要は60ページの上段になります。事業別概要を御覧いただきたいと思っておりますので、事業別概要60ページ上段、お開きいただければと思います。若者定住促進事業費、予算額が1,010万6,000円を計上しております。事業の内容を御覧いただきたいと思っております。結婚による若者定住を促進するため、麒麟のまち婚活サポートセンターを運営しまして、婚活イベントですとか、各種セミナーを開催して、出会いから結婚までのサポートを行うというものでございます。予算額が、前年度と比較しますと、少し減少しておりますが、これは、昨年度、センターの会員管理システムの改修を実施させていただきました。その費用は、令和7年度は発生しませんので、その減によるものということでございます。それから、事業費の2分の1でございますが、ふるさと納税基金繰入金を活用しております。以上です。

◆吉野恭介分科会長 西田室長。

○西田茂樹政策企画課地方創生推進室長 地方創生推進室の西田でございます。続きまして、その下でございます。総合計画策定事業費、予算額151万円でございます。事業別概要書は60ページの下段でございます。これは、来年度、令和7年度で、現行の第11次鳥取市総合計画の基本計画が満了となるということから、令和8年度から始まります、新たな第12次鳥取市総合計画と、その重点施策となります第3期の鳥取市創生総合戦略の策定支援を受けるための業者委託料でございます。これにつきましては、令和6年度から7年度にかけて、債務負担も取らせていただいております。その2年目となります令和7年度に、150万の委託料を計上させていただきます。残りの1万円は、消耗品費でございます。以上でございます。

◆吉野恭介分科会長 上田課長。

○上田貴洋政策企画課長 政策企画課、上田です。1枚おはぐりいただきまして、8ページからになります。8ページの一番上でございます。若者による地方創生政策推進事業費でございます。こちら、事業別概要を御覧いただきたいと思っております。概要は61ページの上段になります。上段、事業費としまして、予算額85万7,000円を計上しております。

事業の内容を御覧いただきたいと思っております。鳥取市では、若者自らが、地方創生に関する調査研究を行いまして、若者の視点による地方創生の推進を図るため、とっとり若者地方創生会議を設置しております。毎年度、公募などで集まっていたいただいた若者で、この会議を組織しまして、年間を通じて、様々な活動を行っていただいております。最後に、市に政策提言を行っていただいております。

令和5年度の若者会議の提言の1つに、若者会議の委員の要件を拡充緩和というようなものがございました。内容としましては、若者会議の委員の多くは大学や専門学校生で、活動終了後に、県外就職などで鳥取市から離れて、関係が途絶えてしまうと。現在の市内在住という委員の要件を広げてですね、鳥取市に居住したことがあれば就任可能として、市外から、課題解決に取り組む人材の意見を取り入れるのはどうかというようなものがございました。

昨年、春以降ですけれども、この会議のメンバーと意見交換を重ねてきました。提言の具現化に向けて、どういう制度設計がいいのかなというような話をしてきたんですけれども、7年度から、委員の要件を拡充緩和しまして、鳥取市に在住したことのある市外在住の若者が、オンラインで活動できる市外委員というのをつくって、活動を充実させていきたいというふうに考えております。具体的には、記載もしておりますけれども、従来の市内の委員、従来の委員が9名程度でございましたが、これに、新たに市外委員（オンライン参加）という区分で3名を加えまして、12名程度での活動を想定しているところでございます。

予算の内容としましては、その委員の報償費ですとか消耗品費、活動に対する助成というようになっております。この事業費の2割に、県の市町村創生交付金を充当させていただいております。

続きまして、一覧表のほうを御覧いただきますと、2つ下になります。麒麟のまち創生推進事業費でございます。事業別概要は、先ほどと同じ61ページ下段になります。事業別概要を御覧いただきたいと思っております。麒麟のまち創生推進事業費で、予算額が357万4,000円を計上させていただきます。因幡・但馬北部の1市6町で麒麟のまち圏域を形成しております。

圏域の発展を目指して、いろいろ取組を進めているというところでございます。

事業の内容を御覧いただきたいと思えます。毎年度、首長による戦略会議の開催ですとか、連携中枢都市圏ビジョンの懇談会を開催しまして、取組の進捗管理を行っております。これにつきましては、令和7年度も、引き続き取り組んでいくということでございます。それから、圏域の構成市町で協力しまして、圏域住民の相互理解を図る、エリアプロモーション事業というものに取り組んでおります。令和7年度は、各市町の推しスポットを巡る麒麟のまち聖地巡礼フォトラリーというイベントに取り組んでみたいと考えております。

予算の内容としましては、ビジョン懇談会の委員報酬や旅費ですとか、先ほどのエリアプロモーションの委託料ということになっております。また、このプロモーション経費の2分の1には、先ほど歳入で紹介がありましたけども、国の新しい地方経済・生活環境創生交付金、前の地方創生での交付金ですけれども、こちらの活用を予定しているところです。以上でございます。

◆吉野恭介分科会長 中村課長。

○中村和範文化交流課長 文化交流課、中村です。同じく資料8ページの一番下です。企画費の鳥取世界おもちゃ館運営委託費等の鳥取世界おもちゃ館施設管理費、予算書は169ページです。予算額は2億1,085万円、財源は1億2,040万円の起債と、206万2,000円のふるさと納税基金繰入金です。これは、鳥取世界おもちゃ館の管理運営に要する経費で、中身としましては、指定管理料の9,036万7,000円と、施設修繕費1億2,048万3,000円です。県の童謡館と市のおもちゃ館の複合施設である、わらべ館は、県と市で共同管理しておりまして、県主導で計画を立てて、年次的に修繕を行っており、その費用も折半しております。7年度は、前年度に引き続き空調改修工事と、新たな照明のLED化、外壁改修工事設計を予定しております。

ページ戻りまして、5ページの歳入を御覧ください。中ほどにございます、市債の総務債、総務管理債で、文化交流課の欄でございます。鳥取世界おもちゃ館整備事業債の1億840万円と、その下の1,200万円を、先ほどの修繕費用に起債、この起債を充当するものでございます。

続きまして、関連する債務負担行為ですが、事業別概要のほうに移りまして、293ページを御覧ください。こちらのほうは、指定管理者制度に基づき指定管理者に委託する鳥取世界おもちゃ館の管理運営費です。限度額は712万8,000円、期間は、令和8年度から10年度です。これは、人事院勧告による非常勤職員等の人件費の増額分でございます。県の童謡館と、指定管理者も市も一緒の、公益財団法人の鳥取童謡・おもちゃ館ですので、係る費用も県と折半いたしまして、債務負担行為の増額を行わせていただくものです。なお、7年度の増額分につきましては、当初予算に計上しております。

続きまして、資料3にお戻りください。9ページの一番下です。国内交流推進費、国内都市交流総合推進費です。予算書は171ページ、事業別概要は67ページの下段を御覧ください。予算額は508万2,000円、財源のその他は、人づくり・まちづくり基金繰入金です。これは、国内姉妹都市や各地域の県人会などとの交流に要する経費です。7年度は、本市と姉妹都市連携を結んで岩国市が30周年、郡山市が20周年の節目に当たることから、両市長の相互訪問やパネル展などの記念事業を計画しておりまして、それに係る経費となります。

続きまして、資料の10ページを御覧ください。上から3段目になります。城下町とっとりまちづくり推進事業費、歴史的建造物保存活用事業費です。予算書は171ページ、事業別概要は68ページ上段を御覧ください。予算額は1,529万3,000円、こちらは、とっとり交流館高砂屋ですね、高砂屋の管理運営に関する経費で、中身としては、その施設管理料と土地借り上げ料等になっております。以上です。

◆吉野恭介分科会長 上田課長。

○上田貴洋政策企画課長 政策企画課、上田です。一覧のほう、その少し下になりますが、環境大学運営費交付金です。事業別概要は63ページの下段になります。事業別概要を御覧いただきたいと思います。予算額が、6億2,561万2,000円を計上しております。環境大学の運営経費は、共同設置者である県と市で2分の1ずつ負担をしております。

事業の内容、真ん中辺りになりますが、そちらを御覧いただきたいと思います。本市は、大学に対して3つの交付金を交付しております。1つ目は、大学の安定運営の財源となる運営費交付金で、4億9,573万7,000円ということでございます。それから、2つ目は、大規模修繕などの財源になります整備費交付金でございます。こちらが、4,231万1,000円でございます。令和6年度は、現時点で大きく5つの施設整備を計画しております。内訳としましては、まず1つ目でございますが、本部講義棟、大きい講義室のあるところです。本部講義棟の空調設備の改修費用としまして、令和7年度、800万円ということでございます。この工事につきましては、令和7年度に、空調設備の機器製作、工場のほうで機器製作を行いまして、令和8年度に、現場への取付工事を行うということで、2か年で施工する計画の工事でございます。

事業別概要の291ページを御覧いただきたいと思います。債務負担行為の概要のページになります。環境大学運営費交付金で、限度額1,200万円、令和8年度ということで記載させていただいております。令和7年度から8年度までの年度をまたいだ改修工事ということで、債務負担の設定をお願いしたいと思います。令和7年度が、先ほどの事業費800万円でございます。令和8年度がこの1,200万円ということで、合計で、2か年で2,000万円、市からの交付金ということで予定をするものでございます。

元のページ、63ページ下段にお戻りください。5つの工事のうちの1つ目が、今の内容でございます。2つ目でございます。情報メディアセンター棟の熱源改修工事に向けた設計を行いたいと思います。設計費用ということで186万円でございます。それから3つ目になります。本部講義棟などの建物の屋上の防水工事、これを実施したいと思います。防水工事に1,602万7,000円、1,602万7,000円でございます。それから4つ目になります。実験研究棟などに、太陽光発電設備を、設置工事を実施したいと思います。766万7,000円になります。太陽光発電の工事費です。最後に、5つ目になります。本部講義棟などの照明のLED化工事、こちらが、875万7,000円ということでございます。財源としましては、最後に5つ目、LED化工事の説明させていただきましたけれども、この875万7,000円のLED化工事には、脱炭素化推進事業債という起債がございまして、交付税措置が3～5割措置されるというものでございます。補助金、後で説明しますけれども、補助金2分の1を充てた残ったところの9割に、この脱炭素債を充てまして、それから、それ以外の空調設備ですとか熱源改修、ほかの4つの工事がござ

いました、その4つの工事にも補助金を2分の1を充てて、残りの9割には、こちらには地域活性化事業債というのがございまして、1番から4番までの事業には地域活性化事業債、交付税が3割ぐらい見てもらえるものですが、それを9割充てまして、残り1割には行政改革推進債という、こちら交付税措置ございませんけども、それで賄うという計画としております。

それから、1番から5番の工事全体の2分の1に、国の脱炭素先行地域に係る交付金の活用を計画しております。この交付金でございますが、事業別概要の150ページの上段を御覧いただきたいと思っております。150ページ上段、こちら、経済観光部の経済・雇用戦略課と書いてありますが、スマートエネルギータウン推進室の事業になります。この事業の概要の真ん中より少し下になります。丸でいいますと、下から4つ目の丸になります。公立鳥取環境大学ZEB化等事業ということで、補助対象経費の補助率3分の2で、1億2,874万8,000円ということで、交付金をスマエネ室のほうで予算計上しております。この交付金を、大学において活用をしながら、先ほどの市の補助金、それから、県からも同額補助金が出ますので、それを合わせた財源で、先ほどの修繕工事を実施していくという計画でございます。

63ページにお戻りください。最後の事業でございます。3つ目の高等教育の修学支援新制度による入学金と授業料の減免の財源となります授業料減免等交付金で、8,756万4,000円でございます。右下に昨年度の実績を書いております。4,151万7,000円見込みということから、8,000万円ということで、ほぼ倍増しております。内容につきましては、国の多子世帯の大学授業料・入学金の無償化が、本年4月開始ということで予定されておりますので、必要な費用を計上させていただいたことによるものでございます。

それから、続きまして、一覧のほうに、また目をやっていただきますと、11ページの上段になります。高等教育機関在学生支援事業費、鳥取市・麒麟のまち圏域魅力発見支援事業費でございます。事業別概要は64ページの下段になります。魅力発見事業で、予算額100万円を計上しております。この事業につきましては、本市に所在する大学や専門学校が、学生に対して行う圏域の企業への就職促進ですとか、地域の魅力の理解促進を図る事業でございます。事業費の2分の1を助成しているというものでございます。事業費につきましては、これまでの実績を見込みまして、昨年度の予算額200万でございましたけども、本年度は100万ということで予定させていただいております。

それから、この事業でございますが、令和4年度に取組を開始しまして、6年度、本年度で3年間ということでございました。それまで、その間、国のデジタル田園都市国家構想交付金、地方創生の交付金を活用してまいりましたけども、国の支援期間は3年間ということで、令和7年度からは、交付金はなくなったというところでございます。そうなりますと、この事業を終了なのか、ほかの財源を探すのか、または一般財源で続けていくのかなどなど、検討が必要になってくるというところでございますが、令和7年度につきましては、ふるさと納税基金繰入金100万円ということで、これを充当して継続ということにさせていただいております。

それと、先般、鳥取市と鳥取大学、鳥取環境大学で、ふるさと納税を活用した地方創生に関する連携協定というものを締結させていただきました。地方創生につながる大学の教育研究活動ですとか学生活動、ふるさと納税で応援していこうというようなものでございまして、大学

を指定して、鳥取大学とか鳥取環境大学に2万円、3万円とかですね、大学を指定して納税の寄附の募集を開始をさせていただいております。今後、この2大学に加えて、市内の専門学校にも、こういったふるさと納税を活用した取組への参画を、相談や呼びかけをしていきまして、令和8年度から、この魅力発見事業をベースにしまして、ふるさと納税を活用した新しい事業への見直しを図られるように検討を、令和7年度中にしてまいりたいというふうに考えております。その間、令和7年度、新年度につきましては、従来の事業内容で実施をしていくというふうに考えております。以上でございます。

◆吉野恭介分科会長 山根次長。

○山根寿彦次長兼デジタル戦略課長 説明資料は、同じく11ページ中段からの電算処理費でございます。電算処理費全体で、8億3,585万9,000円を計上させていただいております。これは、住民情報をはじめとする各種情報システムの運用管理に係る経費となっております。

その中の特徴的な事業といたしましては、資料下段の内部事務システム管理費でございます。その中の庁内LANシステム管理費に、2億6,675万9,000円を計上させていただいております。これは、庁内ネットワークシステムやセキュリティ対策、それと職員パソコンなどの管理・運用に関わる経費でございます。令和7年度の増額要因でございますが、これにつきましては、6年度に実施いたしました、この本庁舎のネットワークの更新リース料の通年化、1年間分払うということですね、通年化や、鳥取地域の小・中学校のネットワークの光化に伴う統合に係る経費が、物価高騰のおりを受けまして、ちょっと増額をしたものでございます。

続きまして、説明資料1つ下の内部事務システム管理費を、8,730万8,000円計上させていただいております。これは、財務会計、それとか電子決裁、文書管理、庶務事務を処理いたします内部事務システムの運用管理に係る経費でございます。令和5年から、この内部事務システムについては、次期システムへの更新に向けまして、債務負担総額4億9,000万円を設定いたしまして、新システムの調達や移行作業を進めてきたところでございます。令和7年度の増加要因は、本年4月から、このシステムの運用開始を始めるということになっておりまして、このたび予算につきましては、新システムのリース料及び保守料を新たに計上させていただいたことから、大幅に増額したものでございます。その他財源につきましては、歳入の雑入のところにも計上させていただいておりますが、同システムを共同利用いたします東部広域行政管理組合のほうから応分の負担をいただき、充当させていただいているものでございます。以上です。

◆吉野恭介分科会長 中村課長。

○中村和範文化交流課長 文化交流課、中村です。それでは、次のページ、資料12ページの一番下です。教育費、社会教育費、文化振興費です。予算書は281ページ、事業別概要は68ページ下段を御覧ください。予算額は896万2,000円です。これは、将来の文化芸術振興の担い手育成を目的とした演奏会などの開催、文化団体育成のための活動補助や施設利用料減免に要する経費などです。

続きまして、13ページを御覧ください。上から3段目、文化芸術推進事業補助金です。事業別概要は69ページ上段を御覧ください。予算額は1,037万7,000円です。これは、童謡唱歌

100曲マラソンなど、文化芸術の振興を目的として、文化芸術団体が実施する各種事業に対する補助経費となっております。

続きまして、その2段下、舞台芸術×地域活性化事業費です。事業別概要は70ページ上段を御覧ください。予算額は3,244万8,000円です。これは、鹿野町を中心に幅広い活動を展開し、地域活性化に寄与しておられます、劇団鳥の劇場に関連する経費となっております。令和5年度から、国のデジ田交付金を活用しまして、県や地域住民などと連携しながら、舞台芸術を核とした人材育成、交流促進、産業振興、にぎわい創出などの取組を推進してきているところです。3月には、新たな劇場のバックヤード施設が完成予定となっております。7年度は、旧鹿野小学校校舎の解体2期工事をはじめ、小・中学生を対象としました劇場空間体験、演劇人材を育成する演劇塾等の開催、地域との連携による演劇祭の開催などの取組を予定しております、これらに要する経費となっております。

続きまして、その下、文化芸術のまちづくり推進事業費です。事業別概要は70ページ下段を御覧ください。予算額は508万4,000円です。これは、物価高騰対応重点支援交付金を活用して、文化芸術の担い手育成を推進するため、小・中学校に、芸術家バンク登録者の派遣を行うなど、また、活動を知ってもらうための、文化芸術家の活動を知ってもらうためのFM鳥取での情報発信、民間ギャラリー等を活用した活動支援などに要する経費となっております。

続きまして、その2段下、麒麟のまち日本遺産魅力発信推進事業費です。予算書は281ページ、事業別概要は71ページ下段を御覧ください。これは、新しい地方経済・生活環境創生交付金を活用して、日本遺産麒麟のまちをPRするための麒麟獅子獅子頭の作製や、パネル製作、鳥取駅前サンロード入り口側の壁面看板の更新、あとは麒麟のまちの推進協議会が強化する観光客誘客事業等に関する負担金となっております。

続きまして、その2段下になります。市民会館管理費、施設管理費、市民会館施設管理費です。予算書は283ページ、事業別概要は72ページ上段を御覧ください。予算額は4,753万8,000円です。これは、市民会館の管理運営に要する経費で、指定管理料と片原駐車場利用時の補填金となっております。

以上で、令和7年度の当初予算の説明を終わります。

◆吉野恭介分科会長 説明いただきました。

本日の分科会では説明のみとなっておりますが、委員の皆様で、聞き取りにくかった点や用語の確認はありますか。なしと認めます。

それでは、予算審査特別委員会総務企画分科会を、これで一旦終了をいたします。執行部の皆様には御退室ください。お疲れさまでした。再開は午後1時10分とさせていただきます。よろしく申し上げます。

総務企画委員会に切替え午後0時5分 休憩

予算審査特別委員会総務企画分科会に切替え 午後2時31分 再開

◆吉野恭介分科会長 では、予算審査特別委員会総務企画分科会を開催いたします。

議案第11号令和7年度鳥取市一般会計予算のうち所管に属する部分（説明）

◆吉野恭介分科会長 それでは、議案第11号令和7年度鳥取市一般会計予算のうち、本委員会の所管に属する部分の説明を、執行部、お願いします。前田課長。

○前田武志市民総合相談課長 市民総合相談課、前田でございます。それでは、議案第11号令和7年度鳥取市一般会計予算のうち、所管に属する部分について説明します。説明に当たり、事業別概要と、資料3、予算審査特別委員会総務企画分科会説明資料にて行います。なお、説明資料、各ページの右端に丸印をつけております。特筆すべき事業に絞り説明させていただきますので、御了承をお願いします。また、歳入につきましては、歳出の説明の中で関連づけ説明させていただきますので、併せて御了承をお願いいたします。

そういたしますと、資料3の12ページ、一番下になります。細目18消費生活対策費です。予算書は163ページ、事業別概要は88ページ上段になります。消費生活センターでは、消費生活相談員が、市民の消費に関する様々な相談に対し、解決に向け、助言やあっせんを行うとともに、消費者教育推進計画に基づき、消費者教育や啓発に取り組んでいるところでございます。予算額1,508万9,000円、財源は、国・県支出金126万3,000円、その他財源として、鳥取県金融広報委員会推奨事業助成金19万8,000円、一般財源1,362万8,000円でございます。内訳は、消費生活相談員3名分の人件費、消費者教育・啓発のための講演会や講座に係る経費、消費者被害防止のための寸劇開催やリーフレット作成、通話録音機能付電話機等の購入補助に係る経費などとなっております。

続きまして、13ページ一番上になります。22市民サービス費のコールセンター設置運営費です。予算書は163ページ、事業別概要は88ページ下段になります。予算額5,234万6,000円、全額、一般財源でございます。鳥取市コールセンターは、令和6年9月1日より、新事業者に運営を委託しております。市民からの電話等による問合せに対し、専任オペレーターがFAQ、よくある質問と回答や、市の公式ウェブサイトに掲載されている情報などを基に、1次応答及び電話交換業務、また、災害時等緊急時電話対応を行うこととしております。説明は以上でございます。

◆吉野恭介分科会長 北村次長。

○北村貴子次長兼市民課長 市民課、北村でございます。それでは、総合窓口管理事務費、事業名、総合窓口管理事務費について御説明いたします。事業別概要は89ページ上段を御覧ください。当初予算額8,931万円、対前年度比50万6,000円の減となっております。事業の概要ですが、これは、本庁舎1階の市民総合窓口業務及び総合案内業務の業務包括委託に関する経費と、市民・福祉・税の3つの総合窓口において使用しております、受付番号発券システムの運用管理費に関する経費となっております。包括委託期間は、令和7年度から9年度の3年間でありまして、令和6年11月にプロポーザルを行い、委託事業者を決定いたしました。予算額の主な内訳は、市民総合窓口及び総合案内業務の包括委託が8,514万円、番号発券システムの運用に係る経費、具体的には、修繕費、保守料ですとか、サーバー使用料が59万8,000円を計上しております。財源は、全て一般財源でございます。説明は以上でございます。

◆吉野恭介分科会長 山名課長。

○山名常裕地域振興課長 地域振興課、山名でございます。その下の丸印を御覧ください。予算書169ページ、事業別概要は77ページ上段、企画費、総合企画費、人材誘致・定住促進対策事業費でございます。予算額は5,365万1,000円です。この事業は、本市の移住・定住を促進するために、相談窓口の設置、首都圏で行われる相談会への出店、各種支援補助金、専用ポータルサイトによる情報発信、お試し定住体験、空き家の利活用の地域団体への委託、これらの取組を計上するものでございます。令和7年度は、この取組に加えまして、企業委託型地域おこし協力隊、これを導入いたしまして、その協力隊に、本市の魅力を存分にPRするためのSNSを活用した戦略的な情報発信、これを行いまして、強化を図り、地方移住を検討される方へ選ばれる鳥取市に向けて取り組んでまいります。財源内訳は、国庫支出金が1,395万円、これは移住支援金をはじめ、4件の補助金でございます。その他財源が21万6,000円、お試し定住体験施設体験料でございます。一般財源が3,948万5,000円となります。

続きまして、その下段の丸印です。とっとり・つながり創出事業費でございます。予算書が169ページ、事業別概要が77ページ下段、企画費、総合企画費でございます。予算額は122万4,000円です。この事業は、本市の関係人口創出に向け、令和6年度から事業化したものでございまして、1つ目が、とっとり・つながりインフルエンサー事業、これは、本市の高校生が、SNSで麒麟のまち圏域に関する情報発信を行い、いいねの数や投稿内容を競う、とっとり・つながりインフルエンサーグランプリ、これを今年度行いましたが、引き続き開催し、本市の高校生が、進学・就職で、例えば県外に転出した場合においても、SNSで本市とのつながりが継続するよう、取り組んでまいります。

2つ目、越境アルバイト、これは新規事業です。これは、全国各地を旅しながら、その地域でアルバイトをしたい人、それと、担い手不足に悩む地域の事業者、これを結びつける民間事業者のサイトがございます。このプラットフォームを活用しまして、県外の若者を市内の事業者へ呼び込み、アルバイトを行いながら、地域と交流する取組を行って、それにより、担い手確保と併せて、関係人口の創出を図ろうとするものでございます。財源内訳は、国庫支出金が42万3,000円、一般財源が80万1,000円となります。

続きまして、次のページ、14ページをお開きください。上から2つ目の丸印です。予算書171ページ、事業別概要は79ページ上段、企画費、地域振興対策費、中山間地域・買い物支援事業費でございます。予算額は1,595万8,000円です。この事業は、本市の中山間地域において、移動販売の運営支援や、見守りを組み合わせた買物福祉サービスの取組支援によりまして、買物が困難な地域における買物環境の確保と、中山間地域で、安心して暮らし続けることができるための環境づくりを目指すものであります。令和7年度は、移動販売の運営支援を3事業者、移動販売と併せて見守りを行う買物福祉サービスの支援を4事業者、さらに、車両が老朽化したことによりまして、移動販売車両を新たに購入する事業者がおります。車両導入支援を1事業者に支援する予定でございます。財源内訳は、国庫支出金が648万1,000円、地方債、これは過疎対策事業になりますが、540万円、一般財源が407万7,000円となります。

次に、その同じページの下から3番目の丸印です。予算書171ページ、事業別概要82ページ、

企画費、地域振興未来会議費、地域振興未来会議運営費でございます。予算額は411万9,000円でございます。この事業は、先ほどの報告事項でも報告させていただきました、令和7年3月末に期限を迎える、地域振興会議に代わる新たな会議体として、令和7年4月1日から、地域振興未来会議を支所区域単位で設置となります。そのための会議の開催に要する経費を計上するものでございます。委員数は各地域12名で、会議は年6回程度開催する予定でございます。この地域ごと、支所ごとに作成した未来プランを基に、地域振興を図ってまいるといったものでございます。財源内訳は、地方債が250万円、一般財源が161万9,000円でございます。地域振興課は以上でございます。

◆吉野恭介分科会長 小森課長。

○小森毅彦協働推進課長 協働推進課、小森です。資料15ページを御覧ください。諸費、地域振興費、コミュニティ支援事業費でございます。予算書は173ページ、事業別概要は84ページの下段となります。これは、市内61の地区公民館単位に設立されております、まちづくり協議会が、地域コミュニティ計画に基づいて行う、地域の課題解決に向けた取組を支援するため、補助金を交付するものでございます。令和7年度は、まちづくり協議会と地区公民館に関連する補助金等の一括交付に取り組む地区が21地区となる見込みでございます。まちづくり事業と生涯学習事業を一体的に実施をいたしまして、学びの成果を生かした住民主体のまちづくりを、さらに推進することとしております。予算額は3,069万2,000円で、財源内訳は、国・県支出金610万8,000円は、鳥取県市町村創生交付金でございます。

続きまして、同じページの諸費、町内会集会所建設等補助金、町内集会所建設等補助金、重点支援地方交付金でございます。予算書は173ページ、事業別概要は85ページの下段となります。これは、物価が高騰し、資材価格が上昇する中、町内会のコミュニティ活動の場であり、集会所の建設や修繕等に係る経費に対して助成を行うものでございまして、町内会活動を支援するものでございます。令和7年度は、19町内会に対しまして補助金を交付することとしております。予算額は1,784万8,000円で、財源内訳は、国・県支出金が1,294万8,000円、これは、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金でございます。起債490万円は過疎対策事業債でございます。

16ページを御覧ください。諸費、防犯対策推進事業費、犯罪から市民を守る防犯対策支援補助金でございます。予算書は175ページ、事業別概要は86ページの下段でございます。全国では、SNS等を使った闇バイトの求人に関心を持った若者による、強盗や特殊詐欺などの犯罪が増加しておりまして、その標的として、高齢者が狙われる事案が多発しております。こういった犯罪に対しまして、市民の皆様の防犯意識を高め、未然に防止をするため、60歳以上の高齢者世帯の住宅に、防犯カメラ等の防犯機器を設置する経費に対して補助金を交付するものでございます。予算額は304万2,000円で、財源内訳は、国・県支出金300万円は、県からの犯罪から県民を守る緊急対策事業補助金でございます。

同じく16ページの諸費、災害ボランティアセンター委託費、災害ボランティアセンター委託費でございます。予算書は175ページ、事業別概要は87ページ上段でございます。これは、令和5年8月の台風第7号の際に、本市初となる災害ボランティアセンターを開設したところで

ございますが、その経験を踏まえまして、より迅速かつ円滑な災害ボランティアセンターの開設・運営を図るために、センターに必要なデジタル資機材を平時から整備をいたしまして、運営スタッフが日常的に扱って、操作に慣れ、機器の稼働を確認し、防犯、防災訓練にも活用することとしております。予算額は49万5,000円で、全額一般財源でございます。

17ページを御覧ください。公民館費、地区公民館施設管理費、地区公民館改修等事業費でございます。予算書は177ページ、事業別概要は87ページの下段でございます。これは、地区公民館の機能改善、利便性向上のため、施設改修を行うものでございまして、令和7年度は、富桑地区公民館と美保南地区公民館の外壁等の修繕、それから、散岐地区公民館に多目的トイレを整備するための設計業務、それから、令和6年度に実施できませんでした、修立地区公民館の植栽の移設業務などを行うものでございます。予算額は3,256万円で、財源内訳といたしましては、起債1,760万円は、公共施設等適正管理推進事業債と緊急防災・減災事業債を活用することとしてしております。協働推進課は以上でございます。

◆吉野恭介分科会長 北村次長。

○北村貴子次長兼市民課長 市民課、北村でございます。説明資料、めくっていただいて18ページ、上から2項目め、戸籍住民基本台帳費、個人番号カード関連事務費、事業名、個人番号カード関連事務費について御説明いたします。事業別概要は90ページ下段を御覧ください。予算額6,483万1,000円、前年度比243万4,000円の増となっております。事業の概要ですが、社会保障・税番号制度の平成27年10月1日の施行に伴いまして、法定受託事務として、マイナンバーカードの交付、電子証明書の発行・更新等の事務を行うとともに、取得促進に取り組んでいるところでございます。予算額の主な内訳は、会計年度任用職員の人件費13名分4,146万4,000円、郵便局に委託するマイナンバーカードの申請サポート業務及び電子証明書更新等業務の委託料が370万6,000円、そして、OA機器の保守ですとか、借り上げ料など、システム関連の経費が1,361万2,000円などを計上しております。制度が始まって10年となりまして、カードの更新は、令和6年度の4倍、電子証明書の更新は、令和6年度の2倍の件数となりますけれども、丁寧な説明対応に努めてまいります。財源内訳は全額、社会保障・税番号制度システム整備費補助金でございます。市民課の説明は、以上でございます。

◆吉野恭介分科会長 上田次長。

○上田光徳次長兼環境保全課長 環境保全課、上田です。続きまして、次のページ、19ページの中ほどでございます。19番、産業廃棄物対策費、産業廃棄物対策費の産業廃棄物不法投棄対策強化事業費でございます。事業別概要書は97ページ上段でございます。本事業は、本市及び東部4町における産業廃棄物の不法投棄の監視パトロールや、防止に関する啓発を行う事業でございます。具体的には、当課に、当課、環境保全課に、廃棄物適正処理推進指導員として、警察OB1名、これは会計年度職員でございますが、この1名を配置し、不法投棄の巡回パトロールを実施し、不法投棄を確認した場合は、投棄者や土地の所有者の調査などを行いまして、関係機関との調整を行って、早期撤去を図っているところでございます。また、不法投棄は、人目の少ない夜間等に行われることが多いため、夜間の巡回パトロールを民間警備会社へ委託をして、実施をしているところでございます。さらに、不法投棄の早期発見や防止の啓発を、これ

を目的としまして、県や警察、その他関係機関と連携をしまして、合同パトロールの実施や海上でのシーパトロール、また、空の上からのスカイパトロールなどを実施しております。これらに係ります経費として、780万6,000円を計上しているところでございます。

続きまして、その下でございます。不法投棄産業廃棄物代執行対策事業費、そして、1つ飛ばしていただきまして、そのもう一つ下ですね、PCB廃棄物処理対策推進事業費に関連しますので、この2つを併せて説明をさせていただきます。本事業は、市民生活に重大な影響を及ぼすおそれのある不法投棄や、PCBの流出事故などが発生をして、撤去等の緊急対応が必要となった場合、投棄者やその管理者に代わって、本市が処理を執行する事業でございます。中核市になって以降、この行政代執行の実施はございませんが、そうした事故が発生した場合を想定をしまして、それぞれ500万円の予算を計上しているものでございます。

◆吉野恭介分科会長 山根局長。

○山根康子郎環境局長兼生活環境課長 環境局長の山根でございます。続きまして、同じく19ページ一番下でございます。予算書は221ページ、事業別概要は93ページ上段でございます。衛生費、保健衛生費、環境衛生費の生物多様性普及啓発推進事業費、予算額1万5,000円でございます。これは、昨年、令和6年でございますが、3月の27日に、佐治町余戸地区の、余戸地区ウスイロヒョウモンモドキ保護の会と、鳥取市の企業であります田中工業株式会社様と、県、そして、本市は、生物多様性の保全協定の締結を結んだところでございます。この生物多様性保全活動に取り組む活動がですね、円滑に行えますように、専門家の派遣やボランティア募集の協力をするなど、この保全活動の普及啓発及び自然共生社会の発展、展開ですね、を推進する事業でございます。この7年度のこの事業といたしましては、公立鳥取環境大学の協力を得まして、大学の演習科目であります、鳥取グリーンベンチャーの外部講師といたしまして、余戸地区ウスイロヒョウモンモドキ保護の会を迎えまして、座学やフィールドワーク等を実施をすることとしております。予算の内容といたしましては、講師謝礼といたしまして4,000円、お茶代として食料費に1,000円、また、消耗品費といたしまして、保全活動に参加する学生などへの軍手等の消耗品に1万円の合計1万5,000円の予算をですね、計上しているところでございます。以上でございます。

◆吉野恭介分科会長 上田次長。

○上田光徳次長兼環境保全課長 はぐっていただきまして、20ページでございます。上から2つ目でございます。6番の公害対策費、02の公害防止対策費でございます。その中の水質・土壌対策費でございます。本事業は、市民の健康の保護と生活環境保全を目的としまして、水質汚濁防止法及び土壌汚染対策法に基づく調査や監視を行う事業でございます。具体的には、鳥取県が策定をします公共水域及び地下水の水質測定計画、これに基づく、本市及び東部4町の河川・湖沼・地下水等の水質の常時監視の実施や、事業場への立入りしての、立入りを行っての行政検査、さらに、河川等への油流出事故等や、魚のへい死事案、これらが発生した場合の調査を行うものでございます。これらの検査等に係る委託費、委託等に係る経費といたしまして、3,620万1,000円を計上をしておるところでございます。

続きまして、1つ飛ばしていただきまして、大気汚染物質調査事業費でございます。本事業

は、大気汚染防止法に基づく汚染物質の常時監視や行政検査を行う事業でございます。具体的には、本市に2か所の大気測定局を設置をしております。まず1か所は、西町にあります県庁の西町分庁舎、そして、もう一か所は、栄町にあります山陰合同銀行の鳥取営業所の駐車場でございますが、この2か所の大気測定局を設置をいたしまして、一般環境大気と自動車排気ガスなどの大気汚染物質の常時監視を行っているところでございます。また、焼却施設等を設置をする事業場への立入りを行いまして、排出される物質の行政検査等行いまして、適正排出の指導や助言を行っております。これらの測定局の測定機器のリースや、各種検査の委託に係る経費といたしまして、1,851万3,000円を計上しているところでございます。以上です。

◆吉野恭介分科会長 山根局長。

○山根康子郎環境局長兼生活環境課長 環境局長の山根でございます。続きまして、次の21ページの上から3番目のところでございます。予算書は225ページ、事業別概要は93ページでございます。清掃費、清掃総務費、ごみの減量化及び再資源化対策費の家庭ごみ有料化事業費でございます。予算額が1億1,888万1,000円でございます。その他の財源の手数料ですが、家庭ごみ処理手数料でございます。この事業費は、ごみ減量化の推進を図るために、家庭ごみ有料化指定袋の作製、分別ガイド、ポスター、チラシ作成などにより、ごみの減量化の実践や4Rの普及啓発など、循環型社会の形成・促進を図る事業でございます。

続きまして、下から2番目の丸印です。予算書は227ページ、事業別概要は95ページ上段でございます。清掃費、塵芥処理費、ごみ収集委託費11億3,816万6,000円でございます。この財源内訳のその他財源ですけれども、2億2,072万5,000円は、家庭系ごみ処理手数料及び大型ごみ処理手数料2億1,169万8,000円と、古紙類収集事業収入902万7,000円の合計でございます。これは、市内約4,500か所のごみステーションから各ごみ処理施設まで、家庭ごみの収集運搬業務の委託に係る経費でございます。令和6年度から、収集区分に有害ごみを追加し、月1回の収集を開始しました。また、乾電池等の収集対象品目に、ボタン電池や充電式電池を追加して、収集を行っています。なお、対前年度比増額予算額の6,863万5,000円ですが、ごみ収集委託費の人件費の見直し等による増額でございます。

続きまして、資料の22ページ中ほどです。予算書は、同じく227ページでございます。清掃費、塵芥処理費、東部広域行政管理組合負担金（塵芥）の可燃物処理施設管理運営東部広域負担金3億1,679万9,000円でございます。これは、可燃物処理施設リンピアいなばの管理運営を行う鳥取県東部広域行政管理組合へ、本市を含む構成市町が、同組合負担金条例に定められた負担割合に応じ、管理運営費を支払う負担金です。公正かつ適正な施設の運転管理を委託するものでございます。以上でございます。

◆吉野恭介分科会長 国府町支所、山川支所長。

○山川泰成国府町総合支所長 国府町総合支所、山川でございます。引き続き、総合支所関係の予算について説明をさせていただきます。説明資料につきましては、少し飛んでいただいて、32ページからでございます。一番上、事業別概要は掲載しておりませんが、国府町総合支所管理費961万3,000円をお願いしております。これは、総合支所の維持管理に係る光熱水費、修繕費等の関連経費でございますが、令和7年度は、国府町総合支所では、大規模改修、非常用

電源の整備とかですね、空調の更新、トイレ改修等の大規模改修が予定されておりまして、それに伴いまして、備品や文書等の移動でありますとか、産廃の処分費などが必要となる、なりますため、例年よりも160万余り増額となる予算をお願いをしているところでございます。

続きまして、33ページでございます。事業別概要は275ページ、地域おこし協力隊事業費451万2,000円をお願いをしております。国府地域では、今年度より、UJIターンの推進でありますとか、空き家の利活用、エリア情報の発信などを目的としまして、地域おこし協力隊1名を採用し、活動していただいております。株式会社兔ッ兔ワイナリーに、人件費を含め委託をしております。今年度は、採用時期の関係で、11か月予算を計上してはいたしましたが、今年度は12か月予算で、さらに、報酬、勤勉手当等を加算支給をし、社会保険料等も増額となりますため、前年度比約、前年度比約111万円余り増額をさせて、予算を上げさせていただいております。以上でございます。

◆吉野恭介分科会長 用瀬町、太田支所長。

○太田潤一用瀬町総合支所長 用瀬町、太田です。同じく33ページ、一番下段でございます。同じく、地域おこし協力隊の事業費ということの用瀬町地域振興課分でございます。予算書は171ページで、事業別概要は278ページ下段になります。これは、昨年の11月から配置いたしました地域おこし協力隊1名の配置に係る経費でございまして、予算額は454万5,000円でございます。この経費の主なものといいますのは、人件費であるとか、旅費、また、住居、車両の借り上げ料ということになります。用瀬も同じことで、人口減少であるとか、少子高齢化によりまして、地域活性化や民俗文化の承継を担う体制の維持や継続、それから、不在空き家や空き店舗の増加というのが喫緊の課題となっております。このことから、用瀬の伝統文化であります、流しびな製作技術の承継と持続可能な体制づくり、それと、空き家の掘り起こしと利活用を主な活動として取り組んでいただくこととしておりますし、さらに、SNS等を通じた、地域の魅力発信や関係人口を創出する企画を展開して、地域の活性化につなげたいと考えて計上したものでございます。以上です。

◆吉野恭介分科会長 青谷町、佐々木支所長。

○佐々木敏彦青谷町総合支所長 青谷町総合支所の佐々木でございます。青谷町総合支所のほうの予算で、同じく34ページの下から2段目になります。新市域特別振興費で、青谷上寺地遺跡地域利活用運営事業費でございます。現在、県立青谷高等学校は、青谷上寺地遺跡を活用したカリキュラムを創設しておりまして、1年生から2年生、3年生に至るまで、継続的な学習環境を整えるなど、近隣他県にない、考古学を打ち出した学校の魅力づくりを行っております。この取組を進めている青谷高校に、青谷上寺地遺跡を活用した学習を履修するために、県外から入学し、鳥取市内に下宿しながら高校に通学する生徒に対しまして、生活費の一部を補助することによりまして、将来の地元就労や地域貢献など、青谷上寺地遺跡を活用した地域の振興につなげようとするものでございます。予算額は24万円で、全て一般財源でございます。

それと、併せてですけども、債務負担行為の説明をさせていただきたいと思っております。事業別概要の310ページのほうを御覧ください。令和8年度の債務負担行為限度額といたしまして、24万円を設定しております。債務負担行為を要求する理由といたしましては、青谷高校が、令

和8年度の入学生の募集を令和7年度中に行う際に、本制度の周知を図りまして、県外からの受験生の増加につなげるために、債務負担行為の設定をしておくものでございます。以上でございます。

◆吉野恭介分科会長 鹿野町、岡本支所長。

○岡本幸子鹿野町総合支所長 鹿野町総合支所、岡本でございます。説明資料は34ページの最下段、文化交流拠点周辺整備事業費4,687万2,000円でございます。予算書は171ページ、事業別概要282ページの下段です。旧鹿野小学校の跡地は、文化交流課の舞台芸術×地域活性化事業費の補助を受けて、令和5年度から、NPO法人鳥の劇場が、校舎の解体と交流機能を持った別館の整備を行っています。本事業では、グラウンド部分について、6年度の設計に基づいて整備を行うもので、その経費を計上させていただいております。これにより、劇場や鹿野城跡公園が一体的に利用でき、多様な人たちの交流拠点エリアとすることで、文化芸術の振興、産業の振興、交流・関係人口の増加による地域の活性化を目指します。財源としましては、国の地方創生交付金、こちらが2,343万6,000円、そして、地方債が2,340万円、その他は一般財源となっております。以上です。

◆吉野恭介分科会長 河原町、九鬼支所長。

○九鬼栄一河原町総合支所長 河原町総合支所長の九鬼でございます。同じ資料の35ページ、下から2番目になります。商工費、観光費、観光キャンペーン事業費、あゆ祭補助金です。予算書は247ページ、事業別概要は278ページの上段になります。河原町の夏の風物詩として広く定着しています、来年度、第43回を迎える、河原町あゆ祭の実施に係る補助金として、514万5,000円を計上させていただいております。実施主体である、あゆ祭企画実行委員会に対して、ステージイベントやアユのつかみ取り、会場警備、ポスター、チラシ製作等に要する経費の一部を支援するものでございます。例年8月の第1土曜日に開催しておりまして、今年は、8月の2日の土曜日の予定で準備を進めてまいります。毎年約2万人近い多くの方々に御来場いただきまして、各種イベントや花火大会、アユの塩焼きをはじめとした露店の出店などに、大変好評いただいております。また、千代川のアユの遡上も年々増えてきておりまして、県内外から多くの釣り人に訪れていただけるようになってまいりました。今年も、この祭りを通して、地域や郷土を愛する心の醸成と、「あゆの町・かわはら」を広く町内外にPRいたしまして、地域の活性化を図ってまいりたいと考えております。以上です。

◆吉野恭介分科会長 気高町、中原支所長。

○中原 登気高町総合支所長 気高町総合支所、中原です。ページはぐっていただきまして、36ページです。一番上の行なんですが、貝がら節まつり補助金ということで、予算書は247ページでございます。これにつきましては、貝がら節まつりを毎年8月に開催しておりますが、それに対する補助金ということで、397万7,000円を予算計上しております。財源内訳としましては、一般財源365万3,000円、その他財源としまして、ふるさと納税基金繰入金32万4,000円でございます。この事業では、民謡貝がら節のふるさとを広くPRするとともに、伝統芸能の保存・伝承ですとか、交流人口の増加を目的に、毎年8月に開催している祭りでございます。地域内外から多くの方に訪れていただき、歌や踊りを通して、地域の魅力を発信に取り組んで

いきたいというふうに思っております。以上です。

◆吉野恭介分科会長 青谷町、佐々木支所長。

○佐々木敏彦青谷町総合支所長 青谷町総合支所の佐々木でございます。同じく資料の36ページ、上から3番目になります。青谷地域にぎわい創出事業補助金でございます。事業別概要は285ページの下段になります。青谷地域の魅力を内外に発信する事業、青谷地域にぎわい創出事業といたしまして、まず1つ目に、1300年以上の歴史があると言われていた因州和紙の魅力を伝え、伝統技術の継承と後継者を育成する青谷因州和紙産地強化事業、2つ目に、青谷の海や山から生み出される豊富な産物を販売するなど、定期的なイベントを開催し、まちなかへのにぎわいの誘導を目的とした、青谷ようこそ市場事業、3つ目に、貴重な遺跡が出土した、国の史跡である青谷上寺地遺跡を活用し、関係団体と地域が連携し、地域活性化を目指す、青谷上寺地遺跡利活用推進事業、これらを実施する団体に補助金を交付しております。予算額は285万円で、財源内訳は、その他財源167万8,000円、一般財源117万2,000円で、その他財源の内訳でございますが、来年度は、寄附金として、クラウドファンディング型ふるさと納税に取り組みむこととしており、100万円を予算として上げております。そのほか、ふるさと納税基金繰入金67万8,000円でございます。以上でございます。

◆吉野恭介分科会長 鹿野町、岡本支所長。

○岡本幸子鹿野町総合支所長 鹿野町総合支所、岡本でございます。説明資料37ページの最上段、公園管理費、公園管理費、鹿野城跡公園管理費でございます。こちら、661万9,000円計上しております。予算書は261ページ、事業別概要は284ページの上段です。市の指定史跡であり、多くの人々が訪れる鹿野城跡公園の除草や公衆トイレの清掃などの通常管理と、市民や観光客の安全を図るため、支障木の伐採や、年次的に行う木柵防腐処理塗装などの予算を計上しております。また、桜が老木となっていることから、生育調査を、本年から、7年度から3か年かけて実施する予定としておりまして、今年度117万2,000円、委託料を計上させていただきました。その他財源の繰入金は、ふるさと納税繰入金、ふるさと納税基金繰入金です。以上です。

◆吉野恭介分科会長 国府町、山川支所長。

○山川泰成国府町総合支所長 国府町総合支所、山川でございます。予算資料は38ページ、事業別概要は275ページ、万葉フェスティバル開催事業費307万円をお願いしております。本事業は、因幡万葉歴史館開館より継続して行っております、大伴家持大賞短歌募集事業に要する経費でございます。新日本海新聞社との共同開催で行っておりまして、毎年、全国から多くの応募がございます。万葉のふるさととして、まちづくりを進めております国府地域の全国PRに大きく貢献している事業でございます。本年度は、30周年記念事業を行ったために、例年の倍の予算を頂いておりましたが、来年度につきましては、通常開催のため、事業費は半減をしております。さらに、事業費を精査した結果、例年の予算ベースと比較しても、20万程度事業費を圧縮して実施することとしております。以上でございます。

◆吉野恭介分科会長 福部町、米澤支所長。

○米澤裕治福部町総合支所長 福部町総合支所、米澤です。説明資料は38ページ、一番下になります。保健体育費、体育振興費、鳥取砂丘らっきょう花マラソン開催費です。予算書は291ペ

ージ、事業別概要は276ページ上段です。これは、本市の花であるラッキョウの花が咲く、毎年10月最終日曜日にマラソン大会を開催し、爽やかな汗を流し、体力づくりに励んでもらうとともに、山陰海岸ジオパークや、砂丘らっきょうのすばらしさを、さらに発信していくものです。令和7年度は、第39回を迎え、実行委員会への補助金交付による開催を予定しています。予算額は321万6,000円、財源内訳は、一般財源が312万1,000円、その他財源として、ふるさと納税基金繰入金9万5,000円の充当を予定しています。

市民生活部、環境局、総合支所の一般会計の説明は、以上となります。

◆吉野恭介分科会長 説明をいただきました。

本日の分科会では説明のみとなっておりますが、委員の皆様で、聞き取りにくかった点や用語の確認等はございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆吉野恭介分科会長 なしと認めます。

議案第16号令和7年度鳥取市墓苑事業費特別会計予算（説明）

◆吉野恭介分科会長 それでは、次に行きます。議案第16号令和7年度鳥取市墓苑事業費特別会計予算について、執行部、説明をお願いします。山根局長。

○山根康子郎環境局長兼生活環境課長 環境局長の山根でございます。資料の39ページを御覧ください。予算書は415ページでございます。墓苑事業費特別会計当初予算でございます。

まず、歳入ですが、使用料及び手数料、使用料、墓地使用料、第二いなば墓苑第三期使用料2,332万6,000円でございます。墓地使用料の近年の使用件数等を踏まえまして、53件の使用料を見込んで計上をしております。歳入の合計は3,050万6,000円でございます。

続きまして、その下段のその他墓地等使用料でございます。その他墓地等使用料ですが、695万9,000円を見込んでおります。その内訳として、合葬式墓地使用料が45件、記名板の使用料が9件、市営墓地の再募集で、円護寺墓地3区画、末恒墓苑3区画、福部墓苑1区画、寺住霊園1区画、出合墓地1区画を予定しています。

続きまして、次の40ページを御覧ください。歳出でございます。墓苑費の第二いなば墓苑用地取得費1,982万8,000円です。これは、金銭給付契約に基づきまして、用地取得費の償還を行うものでございます。

続きまして、その下段の墓地管理費1,037万4,000円でございます。これは、市営墓地の適正な維持管理を行い、墓石等の保護及び参拝者の安全を確保するための管理費です。主な内訳は、墓地守衛員の報酬に321万4,000円、施設の修繕費に297万2,000円、墓地の光熱水費として70万7,000円などです。

歳入・歳出とも、3,050万6,000円の予算でございます。以上でございます。

◆吉野恭介分科会長 説明いただきました。

委員の皆様で、聞き取りにくかった点や用語の確認はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆吉野恭介分科会長 なしと認め、次に参ります。

議案第22号令和7年度鳥取市電気事業費特別会計予算（説明）

◆吉野恭介分科会長 議案第22号令和7年度鳥取市電気事業費特別会計予算の説明を、執行部、お願いします。山根局長。

○山根康子郎環境局長兼生活環境課長 環境局長の山根でございます。資料の41ページを御覧ください。予算書は503ページでございます。電気事業費特別会計当初予算でございます。

歳入ですが、一番上の諸収入、収益事業収入、売電収入2,662万1,000円でございます。これまでの売電収入の過去3年平均によりまして、算出をしたものでございます。

続きまして、歳出でございます。42ページを御覧ください。予算書は505ページでございます。総務費、維持管理費417万円でございます。これは、いかり原太陽光発電施設に係ります維持管理費で、主な内訳は施設管理運営費が154万7,000円、施設の電気使用料といたしまして58万1,000円、施設内の除草作業といたしまして40万円、あと、公課費といたしまして66万円を計上しております。

歳入・歳出とも、2,678万7,000円の予算でございます。以上でございます。

◆吉野恭介分科会長 説明をいただきました。

委員の皆様で、聞き取りにくかった点や用語の確認はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆吉野恭介分科会長 なしと認めます。

以上で、予算審査特別委員会総務企画分科会を終了いたします。

この後の陳情審査は、委員のみで審査を行いますので、執行部の皆さんは御退室ください。お疲れさまでした。

総務企画委員会に切替え 午後3時20分 閉会

令和7年2月定例会

総務企画委員会・予算審査特別委員会総務企画分科会

日時：令和7年2月25日（火）午前10：00～

場所：本庁舎7階第1委員会室

企画推進部

-----《総務企画委員会》-----

◎議案【先議分：説明・質疑・討論・採決】

議案第28号 令和6年度鳥取市一般会計補正予算（第9号）【所管に属する部分】

◎議案【先議分以外：説明】

議案第44号 鳥取市まちなか交流広場の設置及び管理に関する条例の制定について

議案第63号 学校法人又は私立学校法第64条第4項の法人の助成に関する条例の
廃止について

◎報告

- ・「因幡・但馬麒麟のまち創生総合戦略」の策定について（政策企画課）
- ・鳥取市市政改革プラン実施計画について（政策企画課、秘書課広報室、デジタル戦略課）

-----《予算審査特別委員会 総務企画分科会》-----

◎議案【予算審査分：説明】

議案第11号 令和7年度鳥取市一般会計予算【所管に属する部分】

市民生活部

《総務企画委員会》

◎議案【先議分：説明・質疑・討論・採決】

議案第 28 号 令和 6 年度鳥取市一般会計補正予算（第 9 号）【所管に属する部分】

議案第 33 号 令和 6 年度鳥取市墓苑事業費特別会計補正予算（第 2 号）

議案第 39 号 令和 6 年度鳥取市電気事業費特別会計補正予算（第 2 号）

◎議案【先議分以外：説明】

議案第 50 号 鳥取市手数料条例の一部改正について

議案第 65 号 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について

議案第 66 号 鳥取市過疎地域持続的発展計画の変更について

◎報告

- ・地域振興未来会議の委員選任と地域未来プランについて（地域振興課）
- ・鳥取市市政改革プラン実施計画について（協働推進課、市民課、生活環境課）

《予算審査特別委員会 総務企画分科会》

◎議案【予算審査分：説明】

議案第 11 号 令和 7 年度鳥取市一般会計予算【所管に属する部分】

議案第 16 号 令和 7 年度鳥取市墓苑事業費特別会計予算

議案第 22 号 令和 7 年度鳥取市電気事業費特別会計予算

《総務企画委員会》

◎陳情【質疑・討論・採決】

<新規>

令和 7 年陳情第 2 号 市民と共に「いじめ」「自殺」「児童虐待」「犯罪」等を減らす
取り組みについての陳情